

令和5年度第1回
大阪府市地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 令和5年7月24日（月）15時00分～16時40分
- 2 場 所 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 北館3階 OIPH ホール
- 3 出席者 福島委員長、飯島委員、鈴木委員、土屋委員、松浦委員
- 4 議 事

（1）委員長の選出について

福島委員を委員長に推挙する意見が委員から出され、福島委員が当該委員会の委員長に決定された。

（2）令和4事業年度業務実績に関する評価について

- ・ 令和4事業年度の業務実績について法人より説明を行った。
- ・ 次に令和4事業年度の業務実績に関する知事の評価（素案）について、事務局より説明を行った後、審議が行われた。
- ・ 今年度の評価に係る意見はなかったが、次年度以降の法人運営において参考とされたい意見については、以下のとおりである。なお、意見書の文言については委員長預りとする事が決定された。

<主な意見>

- ・ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）において、国内外から多くの人々が大阪を訪れるため、組織として万博に向けた取組みを進めるとともに、衛生管理や感染症対策など健康危機管理の中核としての役割を果たされたい。
- ・ 新たな健康危機事象の発生に備えて、技術的かつ専門的な機関としての役割を果たせるよう国立研究機関や行政、大学等とも連携し、最新の知見・情報を踏まえた助言、提言を行うための体制の構築を一層推進されたい。
- ・ 地方独立行政法人としての自主性や機動性を発揮して、学術分野や産業界と連携した受託研究や共同研究の推進及び研修事業など対外的な業務の拡大に努められたい。
- ・ 万博でのマスギャザリングへの対応に向けた研修や学術分野との連携を通じた知識、技術の強化等により、今後の公衆衛生分野における高度な知見を有する人材の育成、養成に努められたい。
- ・ 独法化及び統合化における効果を最大限発揮できるよう、更に組織の融合を進めるとともに、引き続き、様々な分野で法人が先端を行くよう人材の配置や組織づくりに努められたい。
- ・ 広く住民に対する有用かつ適時・適切な情報発信など、効果を念頭に置いた戦略的な広報を推進するとともに、法人の認知度や西日本の中核的な地方衛生研究所としての存在感の向上を図ることで、職員のモチベーション向上など組織の活性化に繋げられたい。

以上